

## 第135回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年6月9日（木） 11：30～11：41
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

### (1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

4ページ、資料1をお願いします。

#### 【資料1】

6月8日現在の療養者の状況です。

入院者が144人、うち重症者が1人となっています。

療養者数は、合計で1,139人となっています。

次に、6ページ、新規陽性者の状況です。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は47.62人で、昨日8日は増加しておりますが、5月14日以降、概ね減少傾向となっております。

6月6日以降、50人を下回っております。

次に、8ページ、病床使用率は19.4%で、6月2日以降、20%を下回っております。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数です。

62.13人で、減少傾向が続いており、6月2日以降、100人を下回っております。

次に、13ページ、保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

全ての市において100人を下回っており、白河市においては、レベル2の水準となっております。

次に、14ページ、今ほどの保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数です。

喜多方市においては100人を超えておりますが、それ以外の各市においては100人を下回っており、伊達市、本宮市、こちらはレベル2の水準となっております。

次に、15ページ、モニタリング指標です。

「入院率」（12.6%）、「人口10万人当たりの療養者数」（62.13人）、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」（47.62人）が、レベル3、7日現在の数値になりますが、「PCR陽性率」（7.2%）、「感染経路不明者の割合」（53.6%）が、レベル2、「病床の使用率」（19.4%）、「重症者用の病床使用率」（2.1%）が、レベル1となっております。

説明は、以上です。

## （2）新型コロナワクチンの接種状況について

（病院局長）

17ページ、資料3をご覧ください。

### 【資料3】

1 接種実績につきましては、6月7日時点で、3回目接種の回数が、1,230,522回、全人口に対する接種率は66.1%となっております。

また、4回目の接種回数は345回となっております。

資料中段の囲みの部分、想定される6月末累計の対象者、約152万6千人に対する3回目の接種率は80.6%となっております。

なお、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が34.5%、2回目が28.2%となっております。

資料下段の「参考」につきましては、首相官邸ホームページの「3回目接種の年齢階級別接種率の実績」の抜粋になります。80歳代を除いて、本県は全国を上回っております。

次ページをご覧ください。

全体的に新規感染者数の減少傾向が続いておりますが、感染割合で見ると10代以下の割合が高い状況が続いております。

このため、12歳以上の方については、順番を迎えられた際には、3回目接種を早期に行っていただき、5歳以上11歳以下のお子さんについては、ワクチン接種について御家庭で話し合うなど、御検討いただきたいと思います。

また、4回目接種が始まっております。お住まいの市町村の案内に従って、対象となる方は接種を行っていただきたいと思います。

説明は以上です。

(知事)

はじめに、県民の皆さんの命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係の皆さんに、改めて、深く感謝の意を表します。

また、感染拡大を防ぐため、長期間にわたり、御理解と御協力を頂いている県民の皆さん、事業者の皆さんに、心から感謝を申し上げます。

全国の1日当たりの新規陽性者数は、先週末から2万人を下回る日が続き、1万人を割り込む日もあるなど、減少傾向が続いています。さらに、療養者数や重症者数も減少しています。

福島県においても、新規陽性者数は、概ね100人台で推移するなど、引き続き減少傾向にあり、病床利用率や10万人当たりの療養者数などの各種指標も改善をしています。

こうした中、期限を延長して取り組んでいただいていた「子どもの感染拡大防止重点対策」については、10代以下の新規陽性者数も減少傾向にあることから、6月12日をもって終了いたします。この間における施設の設置・管理者及び保護者の皆さんの御協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

13日以降は、「基本対策」に移行し、日常的な感染対策に取り組んでいただくようお願いいたします。

なお、重点対策期間の終了に併せて、基本対策の内容を一部変更いたします。

まず、会食については、これまで「同一テーブルでの会食は4人以内」としていただくようお願いしてきたところではありますが、今後は「ふくしま感染防止対策認定店の利用を推奨する」ことといたします。

ただし、会食時は感染リスクが高まりますので、改めてのお願いとなりますが、参加される方は、体調不良の場合は参加しない、大声やマスクなしでの会話をしない、長時間とならない、テーブル間の移動をしない、お店側は、テーブル間の距離を十分に空ける、換気を徹底するなど、利用される方と飲食店の双方が感染対策にしっかり取り組んでいただくようお願いいたします。

次に、子どもの感染対策につきましては、児童施設や学校等において、引き続き、学習活動や部活動等での感染防止対策と発育状況や活動状況等に応じた感染防止対策の徹底をお願いいたします。

(教育長)

学校関係ですが、知事からお話のありました子どもの感染拡大防止重点対策の終了を踏まえ、6月13日(月)から県立学校における宿泊を伴う学校行事や部活動の合宿・遠征等を可能な限り感染症対策を行った上で実施可能とし、本日、通知を発出いたします。

なお、各学校におきましては、クラスターが発生しないよう、引き続き、基本的な感染症対策を徹底し、地域や学校ごとの状況を踏まえた機動的な対応を適切に実施するよう依頼するとともに、市町村立学校についても、県立学校の例を参考とした感染症対策の徹底を市町村教育委員会に依頼いたします。

(3) その他

(金光教授)

このところ、1日の新規感染者数は前の週の値を下回っているということで、ちょっと安心していますが、私は「そろそろ頭打ちか」、「下げ止まりか」ということを危惧しています。場合によっては増加に転じる可能性があると思います。

一方で、「ウイズコロナ」ということなので、今は一般的な感染対策をしつつ社会活動をしてよいのだらうと思います。

今でも症状が軽いので放置して、そこから伝播した事例が後を絶たない状況です。

ぜひ県民の皆さんにはこういうことがあると常に念頭において生活していただきたいと思います。

(知事)

来週13日以降「子どもの感染拡大防止重点対策」から「基本対策」に移行しますが、感染拡大を未然に防ぐためにも、県民の皆さんお一人お一人が警戒を緩めることなく、引き続き、感染対策にしっかり取り組んでいただくようお願いいたします。

県としても、感染症対策と社会活動・経済活動の両立を図るため、全力で取り組んでまいります。

各部局においては、引き続き、県民の皆さんの命と健康を守るため、迅速・的確に対応を進めてください。